



3月のアメリカによるイラン侵攻以降、世界の原油市場とそれに関連する産業には大きな影響が出ています。弊社でも関連商品の入荷に乱れが出ており、お客様には大変ご迷惑をおかけしております。そこで今回は「原油と油田」を特集します。

■原油の歴史

原油は歴史が古い資源です。古代エジプトのミイラには防腐剤として天然のアスファルトが使用されたり、薬剤や灯火としても利用されてきました。いずれも掘ったわけでは無く、地表に染みだしてきたものを採取していたとされます。中世ではアゼルバイジャンにおいて、深さ35mまで掘り下げられた油井から原油を採取していた記録が残っています。本格的に活用されだしたのは19世紀半ば。ランプ油として灯油が利用されるようになったことがきっかけです。さらに1858年には内燃2ストローク・エンジンが発明され、需要が高まっていきます。この頃アメリカでもペンシルベニア州で油井を建造し、原油の採取に成功しています。この頃、日本とアメリカでは日米和親条約が締結されていますが、1879年には日本への貨物として、精製された灯油が届けられています。

日本では668年7月に、現在の新潟県胎内市で産出された原油が天智天皇に届けられた記述が残っています。当時自然に湧き出した原油は「くそうず(臭水、草水)」と呼ばれており、新潟県内に地名として数多く残っています。油の採掘が盛んな秋田市にも「草生津川(くそうずがわ)」という川が流れていますので、耳馴染みのある方も多いかも知れません。実際にこの川の流域では、八橋油田があることでも知られていますね。

■日本の油田事情

原油…というとならばやはり中東地域を想像してしまいがちですが、日本国内でも原油の採掘が行われており、主に北海道から東北地方の日本海側を中心に採掘が行われています。秋田県内では前述の八橋油田が有名ですが、この他に男鹿市(旧若美町)の申川油田や由利本荘市の由利原油ガス田、鮎川油ガス田があります。特に申川油田では、かつてパイプラインでJR脇本駅まで輸送された後、男鹿市船川港まで貨物列車で運ばれ、原油精製が行われていたことで知られています。約30年前に製油所としての業務は終了していますが、現在も日本国内における主要備蓄基地として機能しており、最近も備蓄されていた原油が出荷されたニュースが出たばかりです。また、山形や新潟でも採掘されている油田が多数あります。ただし、日本では既に採掘量のピークを過ぎた箇所も多くなってきています。



■海外には超巨大油田があった!

今回のホルムズ海峡閉鎖による原油危機まで、日本の原油輸入量の約96%を占めていたのは中東地域です。中東地域の原油は、日本のみならず全世界で使われています。その中でも世界最大の算出を誇るのが、サウジアラビアの「ガワール油田」。まず油田の面積そのものが四国と同じ面積とされます。これまで30年以上にわたり、日量500万バレルという生産量を続けています。ちなみにリットルで換算すると約79万5000キロリットル(1バレルは約159リットル)です。日本の国内全ての油田の年間産出量が2023年実績で約39万2000リットル(246.5万バレル)ですので、たった1日でその2倍を産出していることとなります。しかも、この産出量はさらに維持されると見られており、1000億バレルを超える埋蔵量があるとされています。途方もない埋蔵量です。中東では他にバーレーンのアフリ油田が日量350万バレル、イラクはルマイラ油田が日量130万バレルを産出しています。世界的には100万バレルを超える日量を誇る油田は少なく、ベネズエラやロシアにいくつかある程度です(日量が分かっている油田のみで見た場合)。

■オイルショック…過去の状況は?

現在訪れている原油危機。過去にも「オイルショック」として2回あり、年配の方では記憶にあることでしょう。現在よりも実生活への影響が深刻で、特に1973年の第一次オイルショックは円高不況とも重なり、翌1974年は消費者物価指数が23%も上昇し、高度経済成長は終焉を迎えました。本件と直接関係の無い、トイレトペーパーや洗剤の買い占めが発生したことでよく知られていますね。他にもテレビの深夜放送休止、商業施設などの営業時間短縮、公共事業の着工延期などがありました。また、今回石油備蓄の放出がありました。この石油備蓄基地が作られたのもオイルショックがきっかけでした。今回も一部商品で不足や値上げが発生していますが、当時と違い、情報を得る手段が多数ある時代ですので、デマなどに惑わされないよう気を付けましょう。

仲社長が行く! 由利本荘市鳥海町・有限会社けやき
突撃!!隣のお客様 代表取締役社長 **鈴木ゆかり** 様



今回は由利本荘市鳥海町の有限会社けやき・鈴木社長にお話を伺いました。本荘由利地区の機械加工業といえは金属やアルミが多いのですが、けやきは金属だけではなく、セラミックやガラス、マグネシウムダイキャストなど、幅広い材料の加工を行っており、一線を画す仕事をしておられます。鳥海町で創業し、長らく1拠点2工場体制でしたが、近年、新規事業などで規模を拡大し、由利町の国道108号線沿いにも工場を建てており、現在の主力工場は由利町の川西工場となっています。現在の社長である鈴木さんは2代目。父である、先代社長の故・佐藤嘉毅氏から事業を引き継ぎましたが、既に東京で家庭を持たれていたため、現在は秋田と東京の二拠点生活で走り回り、ハラスメント対策の重視や、休日を増やすなど、従業員が働きやすい職場作りにも尽力されているそうです。お忙しい中、貴重なお話ありがとうございました。

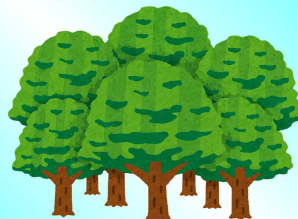


本社 (鳥海町)

■有限会社けやき…平成4年創業、資本金1000万円、従業員約30名。現在の社長・鈴木ゆかり氏で二代目。秋田県由利本荘市小川字上根子31。拠点は鳥海町(本社)に2工場、由利町川西の3工場、2拠点5工場を構える。マシニング加工や研磨加工を得意としている。



川西工場 (由利町)



場所 秋田市大町・協働大町ビル 大町雀荘
 日時 2026年6月27日(土)13:00

今年もまたマージャン大会の季節がやってきました!皆様の情報交換と日頃のストレス発散に、ぜひお繰り合わせの上、ご参加下さい。今年には第20回記念大会として、いつも以上に豪華な景品も用意しております。参加ご希望の方は、担当営業までお願いします。出席の締切は6月19日です。多数のご参加をお待ちしております。

北東北・イベントあれこれ 2026/6

- 6日 大仙市南外/第19回橋岡さなぶり酒花火 酒米の豊作を願って打ち上げられる「橋岡さなぶり酒花火」。おいしいお酒を飲みながら花火を見る恒例行事。
- 14日 岩手・大槌町/第6回岩手大槌サーモン祭り 大槌町の初夏を告げる一大イベント。名物のサーモンつかみ取り体験や、今年も楽しい企画を多数開催予定。
- 21日 青森・平川市/「CURRYヶ関カーニバル」 「道の駅いかりがせき」で多彩な絶品カレーの食べ比べ、アーティストによる音楽ステージ、足湯などを楽しめます。



読書家・仲社長がオススメ! **BookWatcher**

プロジェクト・ヘイル・メアリー

アンディウイアー著・小野田和子訳/早川書房刊 2021年発売
 上・下巻 定価各2,310円(税込)/単行本、電子書籍版は1,485円)

■あらすじ
 太陽の異常減光(エネルギー低下)の原因として地球で発見される「アストロファージ」。エネルギー低下が進むと、氷河期になり人類は滅亡します。各国の科学者が調査する中で、その正体が微生物のようなルギー生命体だと判明する。主人公はライランド・グレース。グレースはもともと分子生物学者(元教師)としてプロジェクトに参加し、この生物の性質解明を担当する。その研究の一環として、すでに回収・培養されているアストロファージを扱うことになる。ちなみに、このアストロファージはエネルギーをほぼ完全効率で蓄えられるという性質を持っていて、宇宙船の推進エネルギー源としても使われることになり。さらに研究が進むと、アストロファージには特定の移動サイクルがあることがわかります。太陽に近づいてエネルギーを吸収して、その後、金星へ移動する。金星にはアストロファージが大量に存在していて、繁殖に適した環境があるとわかります。この発見があったことで、人類はアストロファージの生態を理解し対抗策(=プロジェクト・ヘイル・メアリー)を立てるようになります。そんな中、恒星系(タウ・セチ)にはアストロファージがないことがわかり、その理由を探るために「ヘイル・メアリー」号でグレースはそこへ向かうことになりました。彼が到着した恒星系(タウ・セチ)で、もう一隻の宇宙船を発見します。そこで出会うのがロッキーです。ロッキーの正体は地球人ではなく「エリディアン」という別の知的生命体でした。彼の文明も、同じアストロファージ問題で滅びかけていることがわかります。つまり、全く別の星の文明が、同じ危機に直面していたのです。最初は当然言葉が通じません。でもグレースは数学、物理法則、周波数(音)を使って少しずつ意思疎通を確立します。特にロッキーは「音」で会話をする種族なので、音階を使った言語の解読シーンはこの作品の名場面です。タウ・セチでわかった真実として、2人が協力して調査した結果、驚くべき事実が判明します。アストロファージは「敵」ではなく、別の微生物である「タウメーバ」から逃げているのです。太陽が弱っている本当の原因は「天敵がないこと」ここから導かれた答えはシンプルです。タウメーバを太陽系に持ち帰ればよいということです。ただし問題が発生します。ロッキーの星も同じように危機にあるのですが、彼の宇宙船がトラブルで帰れない…ここでグレースは選択を迫られます。地球に帰って人類を救うか、ロッキーを助けるか!グレースの決断は最終的にロッキーを助けることを選びます。結果として地球にはタウメーバが届き(別の方法で)人類は救われることになりました。この本の面白さは単なるSFではなく、科学的ロジックの積み重ねや異種知性との友情、利己vs利他の選択であったりします。特にロッキーとの関係は、私が特に印象に残る部分です。人類にとって本当に必要な物は領土でもなくお金でもありません。それは太陽であり、空気であり、水であり、我々が日常、意識しないものであることがわかります。本当に考えさせられる一冊です。

ちょっと一杯!
もう一杯!!ペロペロ通信



宮城県村田町 大沼酒造店
乾坤一 純米吟醸「吟のいろは」

原料:吟のいろは 精米歩合:50%
 日本酒度:-6 酸度:1.4 アルコール:16%



久しぶりに宮城県村田町の「乾坤一」を紹介致します。24年12月号で新酒の「純米うすにごり」を紹介しましたが、今回は「純米吟醸吟のいろは」です。「吟のいろは」は2020年にデビューした宮城県酒米で、県内の酒蔵ではこちらを原料米とした数々のお酒がリリースされていますが、ササニシキのような飯米での醸造が多い乾坤一の中では、珍しく酒米で醸されているのが特徴の一つです。今回は梅の花がデザインされた、初春に蔵出しされた1本です。果実のような華やかな香りが特徴で、口に含むとふんわり甘みも広がっていきます。まだ春の少し早い時期に飲みましたので、鍋物などとペアリングにはちょうど良い印象で美味しかったです。720ml 2,090円(税込)。

■編集後記
 ここ数年は桜の開花も随分早くなりましたが、他の春の花もあつという間に見頃が終わりました。千秋公園のつつじも4月下旬には開花、5月中旬には既に花が落ちていました。次第にそれが当たり前に風景になりつつありますが、これからやってくる夏場の酷暑といい、まだまだ首をかしげるような天候が続きますね。もう少し季節感を味わいたいものです。

仲社長のグルメ 五城目町 **麺や渚**



今回は五城目町のラーメン店「麺や渚」を紹介致します。醤油ラーメン(900円)は、鶏+魚介のスープがコク深くバランスも良く自家製麺がスープによく絡んで美味しいです。素材や配合にこだわりあるような感じがしました。女性店員の接客や雰囲気もよく、丁寧で温かい対応でした。店内も清潔で居心地が良く、私が行ったときは家族連れが多かったです。平日の12時前に行きましたが、すでに行列できており、入店するまで時間がかかり地元の人気店と伺えます。周りの人たちは担々麺を食べる人が多く人気ののだなあ〜と思いました。次回は担々麺を試したいと思いました。

三栄機械器具株式会社
 〒010-0065 秋田県秋田市茨島2-9-35
 TEL 018-862-3105 FAX 018-863-0924
 企画・編集 佐々木隆貴

Facebook, X, Instagram icons and text: 三栄機械器具 検索